

# 大蔵経を調べる

大蔵経（一切経）とは仏教の経典を集成したものです。漢訳大蔵経、パーリ三蔵、チベット大蔵経が、主要なものです。ここでは、鶴舞中央図書館が所蔵している大蔵経とその調べ方をご紹介します。

1. 一切経・大蔵経とは
2. 『大正新脩大蔵経』を調べる
3. 漢訳大蔵経の日本語訳

📖：図書   🌐：インターネット

## 1. 一切経・大蔵経とは

仏教の経典や論書を集めた叢書を「一切経」または「大蔵経」といい、大きく分けて三種類あります。

### ①パーリ語三蔵

最も古くまとめられた一切経。経蔵（仏陀の説いた教え）・律蔵（戒律）・論蔵（弟子達の教法に対する研究）が含まれていますが、大乘経典はまったく含まれていません。

📖 『南伝大蔵経』（全65巻） 大蔵出版／編 大蔵出版 [N183/57]

パーリ語三蔵と若干の蔵外典籍の日本語訳ですが、現代語訳ではありません。

<収録巻を調べられる資料>

📖 『南伝大蔵経総目録 パーリ原典対照』 大蔵出版編集部／編 大蔵出版 2004年 [183/152]

📖 『南伝大蔵経総索引』 水野弘元／著 東方出版 1986年 [N183/365]

頭文字画数索引があります。

🌐 WEB南伝大蔵経目録

<https://www.daizoshuppan.jp/files/WEB南伝大蔵経目録.pdf>（大蔵出版が公開しているPDF版の目録）

### ②チベット大蔵経

チベット語に翻訳された一切経。

📖 『西藏大蔵経 影印北京版』（全164巻） 西藏大蔵経研究会／編輯 西藏大蔵経研究会 [SL18/5]

<収録巻を調べられる資料>

📖 『西藏大蔵経 総目録・索引』 臨川書店 1985年 [N183/279]

### ③漢訳大蔵経

漢文に翻訳された経典や論書に加えて、中国仏教者の著作も含めて編集したもの。

📖『大正新脩大蔵経』 大正新脩大蔵経刊行会 大正新脩大蔵経刊行会 1960年- [N183/1]  
漢訳大蔵経の中で、もっとも権威のある一大叢書。(85巻+図像12巻+別巻3巻+索引45巻)

📖『新纂大日本統蔵経』 河村孝照/編集主任 国書刊行会 1980年 [183/198]  
卍字統蔵経。『大正新脩大蔵経』に未収録のものも含まれます。(88巻+89巻目録+90巻索引)

📖『日本大蔵経 増補改訂』 鈴木学術財団/編 講談社 1973年 [N183/243]  
完全な大蔵経ではないが、重要な経律論を選び、注釈したもの。(96巻+解題3巻+目録・索引)

## 2. 『大正新脩大蔵経』を調べる

📖『昭和法宝総目録』(『大正新脩大蔵経』別巻1-3) [N183/1]  
経典名の索引です。

📖『大正新脩大蔵経総目録』 大蔵出版編集部/編 大蔵出版 2007年 [183/229]  
「大正新脩大蔵経書目索引」では、詳名・異名・略名からも検索できます。巻末に書目索引・総目録検字索引があります。

📖『大蔵経全解説大事典』 鎌田茂雄 [ほか] /編 雄山閣出版 1998年 [183/22]  
『大正新脩大蔵経総目録』の解説書。巻末に典籍名索引があります。

📖『一切経解題辞典』 鎌田茂雄/総監修 大東出版社 2003年 [183/250]  
『国訳一切経』(『大正新脩大蔵経』の日本語訳)収録典籍目とその他の若干の仏典について、解釈を施したものです。巻末に漢字索引(画数)・ローマ字索引があります。

📖『日本仏教全集叢書資料総覧』(全3巻) 小山田和夫 [ほか] 編 本の友社 1986年 [N1803/533]  
鶴舞中央図書館が所蔵している大蔵経のうち、『西藏大蔵経 影印北京版』以外は検索できます。総索引編で、漢和辞典のように、経典名の部首・画数で調べることができます。

📖『仏書解説大辞典』(12巻+別巻) 小野玄妙/編纂 大東出版社 [N1803/387]  
『大正新脩大蔵経』『新纂大日本統蔵経』『日本大蔵経 増補改訂』が検索できます。略名・異名が併記されていて、発行時の所蔵者もわかります。典籍名順。

📖『仏教叢書(七種)総索引』 仏教資料研究会/編 名著普及会 1984年 [180/50]  
『大正新脩大蔵経』『新纂大日本統蔵経』『日本大蔵経 増補改訂』が検索できます。書名索引・著者名索引(编者・訳者でも可)・目録。

🌐大正新脩大蔵経テキストデータベース <http://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/index.html>

## 3. 漢訳大蔵経の日本語訳

『大正新脩大蔵経』を底本とし、日本語訳(現代語訳ではありません)した主な叢書です。

📖『国訳一切経』 大東出版社 [N183/153]  
印度撰述部と和漢撰述部の仏典を読み下したもの。

📖『国訳大蔵経 論部』(全15巻) 国民文庫刊行会/編 国民文庫刊行会 1919- [N183/55]  
基本的な論部を読み下したもの。

📖『新国訳大蔵経』 大蔵出版 刊行中 [N183/399]  
印度撰述部と中国撰述部の仏典を読み下したもの。

📖『昭和新纂国訳大蔵経』(全48巻)

昭和新纂国訳大蔵経編輯部／編 オンデマンド版 大法輪閣 2009年 [183/269]  
仏典を読み下して、ふりがなと注をつけたもの。仏像、仏典の解説もあります。

#### 4. パーリ語三蔵（『南伝大蔵経』）の日本語訳

- 📖 『原始仏典』（全7巻） 中村元／監修 春秋社 2003-2005年 [183/108]  
6-11巻の「長部経典（ディーガ・ニカーヤ）」「中部経典（マッジマ・ニカーヤ）」の現代語訳。
- 📖 『原始仏典II』（全10巻） 中村元／監修 春秋社 2011年-刊行中 [183/108/II]  
12-16巻の「相應部経典（サンユッタ・ニカーヤ）」の現代語訳
- 📖 『ジャータカ全集』（全10巻） 中村元／監修・補注 春秋社 1984-1988年 [N1849/33]  
28-39巻の「本生経（ジャータカ）」の現代語訳。

前述の資料以外にも日本語訳されている資料があります。

探す方法としては、以下の方法があります。

- ①OPACに経典名を入力して検索する
- ②請求記号183（人文社会学コーナー）の棚を見る
- ③「2. 『大正新脩大蔵経』を調べる」で調べる
- ④CiNii（Nii論文情報ナビゲータ）などで、経典名・異名・略名で検索する。